

令和6年度におきましても多くの皆様のご協力により、市内すべての小学校で放課後子ども教室が実施され、子どもたちが豊かな体験活動に参加できましたことを衷心より感謝申し上げます。

また、開設20周年を記念して開催された「ゆうゆうプラザフェスティバル」では、普段は別々に活動している各実施委員やサポーターの皆様が連携・協力し、子どもたちが楽しく参加できる様々な遊びや体験の機会を提供していただきました。このフェスティバルに参加した子どもたちの笑顔を拝見し、ゆうゆうプラザの取組みの素晴らしさを改めて実感したところでございます。

さて、将来の変化を予測することが困難な時代、子どもたちには自らの人生を切り拓いていく力が求められており、今後、ますます学校・家庭・地域が一体となり、子どもたちを育てる環境の整備が重要となります。

そのような中、ゆうゆうプラザの活動は、学校・家庭・地域の連携・協働で実施されており、子どもたちを育てるには大変素晴らしい環境であると認識しております。子どもは社会の希望であり、未来の力です。本市の「人づくり・地域づくり」に向けて、今後もゆうゆうプラザはその役割を着実に担っていただけるものと確信しております。

結びに、子どもたちが心豊かに、かつ、健やかに育まれる環境づくりを更に進めるため、関係各位のお力添えをお願い申し上げますとともに、各ゆうゆうプラザのますますの発展を祈念し、あいさつとさせていただきます。

「コミュニティ 出会い語らい協働す 笑顔・信頼 地域の活力(ちから)に」

運営委員会会長 金子 雄司

子どもが、実施委員やサポーターが、保護者や関係者が一堂に会して出会い、語り合い、学び合うことが、これからのゆうゆうプラザの運営や活動、発展に重要です。

フェスティバルは、今まで別々に活動している各プラザの交流の場、コミュニティづくりの場として7地区（久喜は中学校区で4地区、菖蒲・栗橋・鷺宮は各1地区）に分かれて開催し、どの会場も笑顔いっぱい、盛会でした。各実行委員会がそれぞれの目的や持ち味を活かしてポッチャ大会、特色ある講座の紹介と体験、久喜工業高校生徒の指導・補助によるモノづくりなどを企画、運営。7地区全体で1060名の参加者一同が楽しさいっぱい。あちらこちらで会話が弾み、双眸が輝き、盛り上がっていました。

ゆうゆうプラザ開設20周年の今年度、各フェスティバル会場で功労賞表彰を行いました。受賞者は20年間継続ボランティアの方が7名、実施委員長3年以上の退任者が12名、特別功労者が2名です。中には80歳を超えられる方もおられ、永年のご貢献に敬意と感謝を表します。

さて、各プラザの連携と協働を推進するため今年度の情報交換会は、地区別（久喜3、菖蒲・栗橋・鷺宮各1）で行いました。第1部は栗くりゆうゆうプラザの事例発表。第2部の情報交換は、フェスティバルの地区別実行委員会がそのまま生かされ、どのグループでも実情に応じた意見交換が活発に行われました。また、生き生きとした話し合いの内容は各グループのまとめの発表で、提案や共通理解事項として挙げられています。その地区全体で、市全体で取り組むとより効果的な提案もあり、できる所から進めていきたいと思えます。

結びに、フェスティバル開催と年間の活動にあたり、特段のご指導とご支援ご協力を賜りました久喜市、教育委員会並びに事務局担当者、各小中学校、関係団体各位に心から感謝申し上げます。

併せて、実施委員長はじめ実施委員、指導者・サポーター、先生方、保護者・地域の皆様には、ご理解ご協力をいただいたことに厚く御礼申し上げます。